

# 生きづらさを抱えた子どもの学習サポート事業

特定非営利活動法人 西脇てとて広場

## 1. 事業の目的

不登校や発達特性がある、家ではなかなか1人で学習が進まず、学校でも家庭でもしんどい思いをしいる小中学生の学習意欲向上と、「わかった」「できた」という達成感によって自己肯定感アップを図る。また週1回学習することを習慣づける。その他のてとて広場開設時間においても、子どもの状況に合わせて、学習のサポートを行う。

## 2. 活動内容と成果

毎週水曜日の17時半～20時にてとて広場において開催。4月～11月まで32日間行い、参加者数159名。夏休み期間中は8回開催し、のべ77名が参加した。

日本語がむずかしいため学習についていけない外国人や、知的障がい、発達特性などで学習することがむずかしい子どもたちが前向きに学習できるよう、教材も工夫しました。

指導者が1人に向き合って、やっと学習に取り組む子どもがいて、後半は先生の人数が増えた。中学生になったばかりの1年生が参加し、試験勉強の方法がわからず困っていたが、学習サポートの効果があって、成績が伸びた。

学習サポートをはじめて5年目になるが、これまで居場所機能の面が強く、学習する機会の提供にはなっていたが、成績が伸びるところまでは届いていなかった。今年度から、高校生を除き、小学生と中学生で、場所を別にして、集中しにくい部分の環境調整から行ったことで、成果となった。

夏休みは、10名定員とし、普段遊びの場となっているてとて広場では、遊具等があつて集中しにくいため、別の施設を借りて、「学習すること」を定着させた。なかなか宿題が渉らない子どもたちも、指導の先生に丁寧にみてもらって、取り組んでいた。



## 3. 課題と今後の展望

来年度からは、市が発行することも未来応援のクーポンを使用する就学援助対象家庭の子どもに、学習の個別支援を行う予定。

これまで、経済的、発達特性、不登校の課題をもつ子どもたちをいっしょにサポートしていたが、それぞれのタイプに分けた事業にすることで、収入につながり、サポートを受ける子どもや家庭側にも、安心感が得られるよう事業の再構築を行う予定。

